

恋人の聖地 幻想的に

内灘でライトアップ



「恋人の聖地」の拠点と位置付けられる内灘町総合公園で11日、ライトアップが始まり、見晴らし台の鐘つき堂周辺を約300個の発光ダイオード（LED）の光が幻想的に彩った。

ライトは太陽電池式で自動で点灯する。今年は通路やオブジェ周辺のほか、芝生にライトをハート形に配置し、光で浮かび上がる仕掛けを施した。内灘町観光協会が10日に設置作業を行った。

ライトアップされたハート形のオブジェ
— 内灘町総合公園